

表8：各属性変化のWTPの推計結果

	WTP	
	CL	RPL
HOTEL	¥22,124	¥114,129
BAD1	¥-11,144	¥-67,429
BAD2	¥-14,098	¥-69,058
TIME	¥-403	¥-1,922

表8の推計結果を見ると「ホテル」と比較した場合の「民泊」の選好は、かなり低い。両者を利用することに対するWTP差異は、CLでは2万円前後、RPLモデルではやや異常な数値となっている。今回のコンジョイント分析で設定している宿泊料金水準はそれぞれの回答者の平均的な宿泊料金であり、その値は概ね1万円以下だったことを考えると、当該数値はかなり大きいと言える。

ただし、消費者評価情報の影響についても、その効用低下効果は大きい。「低評価がわずかにある」あるだけでも「民泊」と「ホテル」の差の半分程度の効用低下がある。この結果からは、低評価がわずかにあるだけでも供給側にとっては、かなり影響があり、低評価を受けないための質的競争は一定程度機能すると想定される。消費者評価情報を高く保とうとするインセンティブによって質が担保できるのであれば、「民泊」に対する規制が緩和されている点は、一定の正当性が確保されている言えよう。

また、「理想的な宿泊場所からの時間距離」については、RPLモデルで1分あたり限界的に「民泊」と「ホテル」の効用差異の17%程度のWTP低下となる推計結果が得られている。本研究で想定する時間価値は、定義が曖昧で厳密性に欠けるものではあるが、時間距離で1時間程度離れた場所にしか「ホテル」がない地域であれば、「ホテル」利用と「民泊」利用の効用差をほぼ相殺することがわかる。

5 研究成果のまとめ

本研究は、マッチングプラットフォームを利用したアプリケーションの代表として、ライドシェアと民泊を対象にして、消費者評価を通じた競争の効果などについて実証的に検討してきた。

有償乗用旅客サービス市場において、タクシー会社が供給するのであれば、社員としての運転手を対面で勤怠管理できるのに対し、本稿で分析対象とした「ライドシェア」では、仮に、政府がTNCを規制したとしても、TNCが現実的に可能なのは、委託契約者である運転手をオンラインで勤怠管理する形となる。本研究結果は、TNCがオンラインで勤怠管理する二種免許を持たない運転手によるサービスは、既存タクシーサービスと比較して効用がかなり低いことを示していた。

民泊に関する分析では、シェアリングエコノミーの特徴である固定費を兼業で回収する仕組みに注目し、需要不足で施設費の回収が難しい低需要地域における民泊の可能性をコンジョイント分析により検証してきた。オンラインマッチングにより兼業でのサービスが可能となる点は、これまでにない形のサービスがオンラインにより実現しているという点で、ICT分野の大きな経済貢献となる。本研究結果からは、宿泊施設が近隣にない地域での「民泊」が一定の消費者評価を得ていれば、「民泊」選択される可能性も高いことなどが分析結果から明らかとなっており、これまで宿泊施設が立地できなかった地域において、オンラインマッチングが新たなマーケットを創設する可能性を示唆していた。

本研究では、諸外国のシェアリングエコノミーの状況も別途調査したが、そもそも規制で守られていた産業にオンラインマッチングサービスが参入するケースは意外に少ない。本研究で取り扱った日本のケースは対面での安全規制がオンライン経由の管理に変化するという数少ない例であり、その意味で、ICTを活用したアプリケーションが既存サービス市場に参入する際に生じる重要な問題の研究事例となっている。

様々なサービスがオンライン化される中で、従来の規制がサービス導入を妨げるケースは多々ある。本研究は、コンジョイント分析という表明選好法を用いた実証研究であり、表明選好法自体が必ずしも現実の消費者行動を正しく表していない可能性もあるという批判もある。表明選好法による検証以外の方法で、オンライン化されるサービスの消費者の受容性を検討する必要はあろう。そうした点については、本研究に残された課題であると言えよう。

【参考文献】

- Arnott, R. (1996): 'Taxi travel should be subsidized', *Journal of Urban Economics*, 40, 316–333.
- Coffman, B.,R., C.Shreiber (1977): 'The Economic Reasons for Price and Entry Regulation of Taxicabs (Comment and Rejoinder)', *Journal of Transport Economics and Policy*, 11(3), 288-304.
- Farren, M., C.Koopman, M.Mitchell (2016): 'Rethinking Taxi Regulations: The Case for Fundamental Reform', Research Paper, Mercatus Center, George Mason University.
- Guttentag, D. (2015) "Airbnb: Disruptive Innovation and the Rise of an Informal Tourism Accommodation sector," *Current Issues in Tourism*, 18-12, 1192-1217.
- Harding, S., M.Kandlikar, S.Gulati (2016): 'Tazi apps, regulation, and the market for taxi journeys', *Transportation Research A*, 88, 15-25.
- Joskow, P.L., N.L.Rose (1989): 'Economic regulation and its effect', In Schmalensee, R., Willig, R.D. (Eds), *Handbook of Industrial Organization*, Elsevier, ch.25.
- Lagos ,R. (2000): 'An Alternative Approach to Search Frictions', *Journal of Political Economy*, 108(5), 851-873.
- Nasulea, C., D.F.Nasulea (2018): 'Innovation needs deregulation: the case of taxi and private hire companies', *Proceedings of the International Conference on Business Excellence 2018*.
- Nieuwland, S. and R. van Melik (2018) "Regulating Airbnb: How Cities Deal with Perceived Negative Externalities of Short-Term Rentals," *Current Issues in Tourism*, DOI: 10.1080/13683500.2018.1504899. published online.
- Oksam, J. and A. Boswijk (2016) "Airbnb: the Future of Networked Hospitality Businesses," *Journal of Tourism Futures*, 2-1, 22-42.
- Proserpio, D., G.Zervas (2017): 'Online reputation management: Estimating the impact of management responses on consumer reviews', *Marketing Science*, 36(5), 645-665.
- 新経済連盟(シェアリングエコノミー推進 PT) (2018)『「ライドシェア新法」の提案』
- Shreiber, C. (1975): 'The Economic Reasons for Price and Entry Regulation of Taxicabs', *Journal of Transport Economics and Policy*, 9(3), 268-279.
- Viglia, G., R. Minazzi and D. Buhalis (2016)"The Influence of E-Word-of-Mouth on Hotel Occupancy Rate," *International Journal of Contemporary Hospitality Management*, 28-9, 2035-2051.
- Williams, D.J. (1980): 'The Economics Reasons for Price and Entry Regulation of Taxicabs: A Comment', *Journal of Transport Economics and Policy*, 14(1), 105-112.

〈発表資料〉

題 名	掲載誌・学会名等	発表年月
消費者評価情報の競争があればライドシェアサービスは従来型タクシーサービスを代替しうるか? : 消費者評価情報による競争と規制緩和	交通学研究	2020年3月
民泊とシェアリングエコノミー — 低需要地域における民泊市場の可能性 —	運輸と経済	2020年2月
How User-Review Information Affects Consumer Choices with Matching Apps?	International Telecommunications Society, Asia-Pacific Regional Conference	2019年10月報告
ライドシェアサービス普及の可能性 : 消費者評価情報による競争と規制緩和	日本交通学会 2019年度大会	2019年10月報告
日本における民泊市場の可能性 : 宿泊施設不足の地域についての考察	交通学会関東部会	2019年8月報告